

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム自由の風(ちゅうりっぷ)	評価実施年月日	平成21年9月15
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成21年10月25

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>地域性を考え、全職員が意見を出し合い理念の構築に当たっております。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>全職員が理念の意図する所を理解しており、理念に向かって連携し、ケアに取り組んでおります。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>グループホーム建物内の掲示板や居間等、数箇所に理念を掲げ、又、ご家族宛広報誌や一般向けパンフレットに理念を記載し理解を頂ける為の取り組みを行っております。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>グループホーム前に看板を設置しており、「介護についてのご相談がありましたら、いつでもご相談ください」と掲げております。近所での買い物や洗濯干し、畑の手入れ、建物周辺の掃除や雪かき等日常生活の中で常に隣近所の方々と挨拶や会話をして接しており交流しております。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>運営推進会議を通じて地域の祭りや小学校の行事等の参加や近隣のお店での買い物等により交流を深めるよう努めております。</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議を通じて認知症の勉強会を行い町内会、民生委員の方から地域の皆様にその情報を伝達して頂いております。又、地域の小学校の校長先生、教諭を招いて認知症の理解を深めて頂き、児童の教育の一環となる様取り組んでおります。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	○	現在、過去において権利擁護、成年後見を必要としている方はおりませんが、必要があれば活用して行きたい。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	各ユニットの管理者及び計画作成担当者が適時入居者の意見、不満、苦情を聞き、又、職員からの報告とご家族からの報告、相談を含めて、それらがあれば早急に対応する様にしております。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	月一回発行の広報誌上にて、入居者の暮らしの様子を写真掲載し、合わせて個々の生活の様子や健康状態等を文面でお知らせしております。又、面会時にも同様に直接ご報告しております。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関入口に苦情箱やご意見箱と各用紙を設置し、ご家族等の方には訪問時に何でも話して頂ける雰囲気作りを心掛けております。又、ご家族等の方より職員へ相談・苦情・要望等のお話があった際には、家族面談簿として記録し、その都度管理者を中心として早急に対応したうえで、会議等を通じて運営に反映させております。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度会議を開催し、各職員の率直な意見や提案を聞くようにしております。運営者・管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図るように心掛け、距離感無く何でも話せる雰囲気環境にしております。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	その人らしい個別の生活が出来る様、その状況を見て職員配置を行い、急な勤務調整必要時にも緊急連絡網を活用して円滑な対応が取れています。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	最小限に人事異動を避け、馴染みの関係を大切に壊さぬよう、最善を尽くしております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時にご家族や本人の思い、必要としている支援を最大限に尊重したうえで、必要の度合いや早急性を見極めて支援しております。また、必要があれば他のサービスも柔軟に対応できるようにしています。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	一人ひとりの状態にあわせ、事前に見学に来ていただいたり、何度か足を運んでいただきホームの雰囲気を体感できる時間をすごして頂いております。職員が話し相手になったり、家族との電話、面会で、より安心感を持っていただけるようにしております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	常に人生の先輩として敬うことを忘れず、喜怒哀楽を共にして信頼関係を築くようにしております。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	職員は日常の生活状況を面会時や広報にて伝えレクリエーションや行事などの活動時に家族の参加を呼びかけ時間や空間を共有することで絆を深めるよう努めております。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	職員は行事やレクリエーションなどホームでの活動に参加できるように場面や機会を作りよりよい関係作りを築けるよう努めております。また、入居時の情報やご家族との会話から個々の家族関係や家庭環境を理解したうえで支援しております。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人の馴染みの友人、知人が気軽に来訪できるようより良い関係の継続に努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	仲の良い人同士並んで座っていただいたり、孤立しがちな方は職員が間に入り、談話を持ちかけたりして楽しい生活が送れるよう支援しております。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所されてもその後の家族の相談にのったり、本人に会いに行くなどして関係を断ち切らないように努めております。又、近くにこられた際にはいつでも立ち寄っていただけるような関係性を入居中から構築しております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	思っていることがうまく言えない人には関わりを多く持つようにし、日々の生活や表情から利用者の思いや意向などの把握に努めております。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者一人ひとりの得意なことや好きな食べ物など本人、家族、その関係者などから情報を聞き利用者の生活歴の把握に努めております。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	血圧や体温、食事摂取量などの健康状態をチェックするだけでなく利用者一人ひとりの日々の暮らし方の中から全体を把握できるよう努めております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族と本人の思いや意見を伺い、職員全員がひとつのチームとなり、アセスメント、意見交換、モニタリングなどを行っており、より良い介護計画作成に取り組んでおります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の期間や心身、身体状況の変化などに対し、本人やご家族、関係者と話し合い、早急に計画の見直しを行い現状に即した計画の作成をしております。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別にてファイルを用意し、日々の暮らしの記録を行い生活の様子、状況を記入し情報を共有しながら介護に生かしております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	病院送迎やその他の状況にて支援が必要なときは柔軟な対応を行い、本人や家族の要望にも極力対応できるような体制作りを事業所全体で支援しております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	本人の意向や必要性に応じ、ボランティアや小学校などの協力、民生委員の協力もいただきながら地域での暮らしを続けられるよう支援しております。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域の他のケアマネジャーやサービス事業者との情報交換を蜜に行うことで、本人の意向や必要時には共に協力し、訪問理美容やボランティアなどのサービスを利用できるよう支援しております。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議への参加を依頼し必要に応じ権利擁護やケアマネジメントなどについての助言やアドバイスを頂戴し参考とさせていただいています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	入居者にかかりつけ医の確認をし、本人や家族の希望の病院にて適切な医療が受けられるように対応し日々の健康管理を行っております。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院と連携を持つことで、その都度認知症に関する助言やアドバイスをもらい必要に応じ他治療や診断を受けられ体制になっております。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	グループホーム内の看護師や協力病院の看護師に必要に応じて相談、助言を頂き日々の健康管理に努めております。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入居者様の入院に際し、入院中も安心して過ごしていただいたり、家族とも話し合いを持ち、早期退院にも向け、速やかに対応できるよう医師との情報交換や相談に努め連携しております。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化した場合や、変化があったときは早急に医師などと話し合いをし必要時には家族に伝えます。あらかじめ、本人、家族、医師と方向性を話し合い全員で方針を共有しております。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	本人や家族の意向を重視し、かかりつけ医及び全職員と連携をとり、安心、納得の出来る終末期を迎えていただけるよう取り組み、急変時など早急に対応していただけるよう医療機関と密な連携をとり対応、支援しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>他の居宅へ移り住む際はケアプラン、生活環境及び支援内容などの情報収集及び意見交換し、今までの暮らしを継続できるよう配慮しております。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>ホーム内でのサービス担当者会議及び勉強会にてプライバシー及び個人情報の意識の向上を図り、周知徹底し適切な配慮がなされるようにしております。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>日々本人の意思決定を尊重し、ケアの実践を行います。又、意思疎通困難な入居者の方にはその方の表情やしぐさなどを観察し職員独自の都合や判断をしないよう暮らしの支援を行っております。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>日々、利用者の思い、気持ち、意思、感情を尊重し希望に添える支援を行っております。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>着替え時は入居者本人の好きな衣類を選んでいただくようにしており、利美容も本人の希望の店にいけるよう支援しています。又、行事・記念日にはおしゃれをしていただくよう、その気持ちを引き出すよう支援しております。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>観察、見守りを行いながら入居者と職員が一体となり食事準備及び後片付け、食器洗いをし、職員と一緒に和やかな雰囲気の中で食事をしております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	入居者の方の希望のものがあればその都度買い物に行ったり、タバコを吸いたい方には、設備を整えたり、入居者の方の嗜好の支援を行っております。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄表や入居者の方の表情、しぐさなどの観察及び把握をし、その表などを基本にトイレでの排泄を心掛けております。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	利用者一人ひとりの希望時間及び曜日に入浴できるよう職員一丸となり支援しております。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中は出来る限り生活活動を促し、夜間にはゆっくりと安眠できるよう支援しております。又、その時の希望、体調面を考慮しゆっくり安心して休息できる環境づくりを支援しております。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	日々、入居者一人ひとりの過去の生活歴及び趣味を活かした役割や活動ができるよう支援しております。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	当ホーム入居時には家族の方に小額のお金を本人に持たせて頂くようお願いしており、少々の買い物などは預かったお金を活かし、入居者の方が安心して使えるように支援しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天候の良い日などは買い物や散歩、家庭菜園及び花の散水、洗濯物干しなどを行ってもらい出来るだけ多く外に出かけられるよう支援しております。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	四季を感じられる外出行事や個別での買い物などの外出支援をしております。家族の参加を募り同行していただくこともあります。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	電話や手紙に制限は無く、好きなきに連絡を取れるようにしております。又、電話はプライバシーを考慮し個室でも対応できるよう配慮しております。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時間や、居室での宿泊に制限は無く、希望により食事の提供もしており、グループホーム本来の姿を見ていただくことができ、本人のみならず家族や馴染みの人たち皆さんが居心地よく過ごせるための工夫に努めております。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	グループホームに身体拘束委員会を設置し定期的に会議や勉強会に参加し、運営者、職員すべてが正しく理解できるように取り組んでいます。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	自由のある暮らしを支援しており安全を重視したうえで声掛けや見守り、さりげない後追いをし鍵を掛けないケアを実践しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	昼夜を通して職員が見守りを行っており、夜間は居室を見渡せる食堂などで見守りを行い、利用者の所在や様子を把握し安全に配慮しております。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	すべて禁止するのではなく、入居者の状況を把握、理解し必要があれば職員の見守りなどにて対応しております。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	グループホームにて事故対策委員会を設置し、定期的に会議や勉強会を設けており、全職員が正しく理解できるように取り組んでおります。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	急変や事故発生時に備えマニュアルを用いて応急手当や初期対応の訓練を勉強会にて行い、全職員がその状況に対応できるようにしております。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防の避難訓練や利用者が避難できる方法を身に付け、日頃より地域、町内会の人々の協力を得られるよう働きかけております。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	入居契約時や身体的状況に変化が出てきた際には家族にグループホームの暮らしの中で一人ひとりに起きうるリスクを説明し、了承していただけるよう話し合いを行っております。		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで いきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日、バイタル測定(体温、血圧、脈拍)を行い記録しております。また、体調や状態に変化があれば当ホームの看護師や協力病院、担当医などから指示を受け情報を共有し対応に結び付けております。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬や薬手帳を確認し職員一人ひとり理解できるようにしております。服薬の際には手渡しにて服用確認を行い、変化があるときには記録や担当医師への報告をしております。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	日々の暮らしの中で水分チェック、体操、散歩、家事など体を動かす機会を設け、食事では繊維物を多く取れるような工夫や必要に応じての腹部マッサージの施行等で便秘予防に取り組んでいます。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、歯磨きの声かけをし、入居者の状況に応じて職員が介助をしております。その他、嚥下体操を実施し、嚥下力の維持向上に努めております。口腔ケアの勉強会も行い、全職員が適切な技術を理解しております。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日、食事・水分摂取量をチェック表に記入して全職員が共有できるようにしています。食事のメニューは栄養士がカロリー計算し献立をたてバランス良く、栄養状態が整うよう支援しております。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	適時、感染症の勉強会を行い研修にも積極的に参加し、職員の意識、理解に努めています。また、マニュアルを用いて対応・対策を行っておりインフルエンザ予防接種やペーパータオルを使用し手指の消毒も実施しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食中毒予防のためマニュアルを用いて各消毒チェック表を使用し、食器、調理器具などの衛生管理の徹底を行っています。また、適時勉強会や研修にも積極的に参加し職員の知識、理解の向上に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関先に案内看板、手作りの「ご相談ください」という看板も設置し、周りには花や木を植え、やさしさのある雰囲気の良い環境に心掛けて出入りのしやすい配慮を行っております。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ホーム内にて季節に合う花類を飾ったり、食事の際は旬のものを使用し、季節を感じていただけるよう居心地の良い工夫や空間作りをしています。また、廊下やトイレ内には子犬などの可愛い写真を貼り穏やかに、リラックスして過ごせるような工夫しております。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	玄関前にベンチを置いたり、各ユニット内にソファを置き、絵画を設置したり、共同スペース、一人になりたいスペース内緒話をしたいスペースを確保し、その時々が必要にあった空間作りをしています。		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には今まで使用していた馴染みのあるものをなるべく持ってきていただくように説明しています。同意があれば自室に活かし居心地よく過ごしていただけるように工夫しております。		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	日中、定期的にユニット内、居室の喚起に気を配りトイレや玄関には消臭・芳香剤を利用し、臭いの対処しています。温度管理は各居室、食堂、居間に温度計を設置し温度・湿度の管理を行っています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ホーム内は手すりを多く設置し、トイレやキッチンの間口の広さの確保や車椅子の高さに調整した洗面台など一人ひとりの立場にあった環境の工夫をしています。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>ホーム内では場所の表示をしたり、時計、カレンダーを多く設け入居者の状況に合わせた環境整備を心がけ混乱が生じたときには速やかに不安を取り除くようにしております。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>外回りには花畑や家庭菜園があり水撒きや収穫などを楽しめるよう工夫しています。</p>		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)